

新所沢駅周辺まちづくり特別委員会会議記録（概要）

令和4年5月12日（木）

開 会（午後1時30分）

【議 事】

○新所沢パルコの営業終了に伴う商業振興と地域公共交通について

植竹委員長

新所沢パルコの営業終了に伴う商業振興と地域公共交通についてを議題といたします。初めに、産業経済部から概要説明をお願いいたします。

【概要説明】

鈴木産業経済
部長

概要の説明については、築地商業観光課長から簡単に説明させていただきますので、よろしくお願いいたします。

築地商業観光
課長

商業観光課、産業経済部の所管について御説明をさせていただきます。
まず、令和3年2月に、令和6年2月末をもって、新所沢パルコの営業の終了が発表されたところです。新所沢パルコは1983年の開業以来、新所沢地区の代表的な商業施設として、多くの地域住民に愛されており、所沢市や近隣商店街との連携も積極的で、通路を活用したイベントなども積極的に行われているところです。

また、900人以上の方が働く大きな雇用の場としても大変重要な施設です。前回の委員会審査以降の取組についてですが、新所沢パルコの閉店を惜しむ声は個々の市民の方から頂いております。自治会商店街の方々に

は、営業継続に向けた要望などを行う際には、支援をさせていただき、お伝えしてまいりました。

市としては、新所沢パルコは新所沢地区のみならず、所沢市としても大きな存在の商業施設であり、今後アフターコロナ期においては、身近な商業施設を利用する方が増加することも見込まれ、消費行動の変化も考慮の上、改めて事業継続の判断をしていただけるよう、J. フロントリテイリング株式会社、また、株式会社パルコへ、新所沢パルコの営業継続について要望を行っていきたいと考えております。

【質 疑】

大石委員

今の説明の中で、株式会社パルコが営業継続できるように要望活動を行うことをしていくときは、地元自治会、商店街に対して協力しますよ、というようなことを伝えてあるということだが、どのようにこれを伝えてあったのか、まずは確認したい。

築地商業観光
課長

まだ正式に各商店街、自治会からパルコの営業継続を要望したいという御相談は書面等では、私どもの方では頂いておりませんが、自治会の会長から相談をいただいたケースがありましたので、実際にお会いした中で、何かそういう活動をされるときには、商業観光課として支援させていただきますと御案内させていただいておりました。

近隣商店街の会長などとお話しする際に、何かある際は、とお話しをさ

せていただいております。

大石委員

新所沢町内会連合会会長が急逝されてしまったが、お亡くなりになられた前の会長とそういう話をされていたということによろしいか。

築地商業観光
課長

そのとおりです。

大石委員

この1年間、約1年ちょっとあるが、撤退が発表されてから、株式会社パルコの経営者や、もしくは、株主であるJ. フロントリテイリング、こういった方々との、経営者の立場にある方々とは、何か市として相談したとか、市も地権者、地下の自転車駐車場を持っている地権者だから、どのような建物を活用していくのかとか、営業撤退した場合、しないでほしいというのが願いだが、した場合どうするのかというのは、この1年間では、経営者的な立場の方々とは話合いはしてきたのか。

築地商業観光
課長

私どもとしては、パルコの営業継続をまず一義的にはお願いしていくところですので、大石委員がおっしゃるような、パルコの撤退後の話について、経営側に市から働きかけ等は行っておりません。

大石委員

署名活動も地元で始まっているようだが、この間、我々の委員会では、

新所沢パルコの撤退に関する研究会の方々をお招きして、参考人としてお話を伺ったが、所沢市自治連合会が公認している組織だということだが、そういった方々とのやり取りというのは、産業経済部としてこの間あったか。

築地商業観光課長 そのような活動が行われていることは承知しておりますけれども、産業経済部として特にコンタクトを取ったということはありません。

大石委員 こういった地元の研究会が立ち上がって、署名活動をされている方もいるが、きちんとコンタクトをとって、共に地権者であるから所沢市はパルコに残ってほしいという活動をされるのはもちろんあるが、話し合いをこういった方々と一緒に積極的にすべきではないか。

鈴木産業経済部長 先ほども築地課長からもお話ししましたとおり、産業経済部としては、商業施設という扱いとして、何とかパルコには残っていただきたい、このまま継続していただきたいという思いがありまして、当初撤退をされるというお話をされたときから、パルコの方々とも、御挨拶に来られたときにさせていただきました。

ただ、今回の勉強会について、実際に行われることというのは、その直前、こちらの方に情報が入ってきたのですけれども、撤退後に関する勉強会ということになってしまうと、産業経済部としては商業施設としての存

続をまず第一に考える立場として、撤退後の内容を云々ということでは、意見というか、そういったことはちょっと難しいと判断をさせていただきました。

大石委員

商業施設として残してほしい、署名活動もそうやって、商業施設として継続して、周辺のまちづくりも一緒に検討してくださいという願いだと、先日のお話だったわけだが、我々が参考人としてお招きして、我々はこういうふうに行っているわけだから、執行部の方も直接、我々はJ. フロントテイリング、株式会社パルコとは直接契約できるわけではなく、権限があるわけではない。どのようになっているかと聞くことはできるが、権限があるのはそちらサイドなので、パルコとして残ってほしいというのが産業経済部の話だが、その後も商業施設としてできたら残してほしいという話合いをしていくべきだと思うが、その点はもうちょっと積極的にやっていただきたい。

鈴木産業経済
部長

積極的にというのは、なかなか立場上、行政として、相手の方も民間の事業者ですし、こちらの思いというか、それだけで何とかというわけにもなかなかいかないのかなとは思っています。

ですから、最初にお話しした通り、例えば、自治会の方ですとか、商店街の方とか、株式会社ダイエーのときにもそういうお話があったと思いますけれども、そういうところからの声が上がってきて、残ってほしいとい

う大きな要望の中で、市も一緒になって要望を上げてきたという経緯がありますので、その辺りの流れについては、当初、元の自治会の会長にもお話をし、こういった流れでぜひ進めていきたいというお話しはさせていただきました。

ですが、先ほど言いましたように、流れ的に撤退後のこととなってしまうと、うちの立場として、そこに一緒に合わせていくというのは難しくなってしまうのかなというところもありました。

大石委員

商業施設として残してほしいというのは願いだと思う、パルコは残らないまでも。その点は産業経済部として、ちゃんと把握してほしいなど。撤退したから次は商業施設ではなくなるわけではないので、その後どうするかという話は、この間の話だと、そここのところは把握してほしいなどと思うのと、併せて、それ以上超えてしまうと、撤退後の話になってしまうと、産業経済部ではなくて、経営企画部だとか、市民部はもちろん自転車駐車場を持っているので、市民部や経営企画部の範疇になるという考えか。そこまでいくと、市長が指示してくれないと組織としては動かないのかなと思うが、撤退したなということになると、経営企画部だとか市民部の範疇になるという考えか。

築地商業観光
課長

撤退後の、例えば跡地の利活用について、市の中でどこがということが現時点では決定しておりませんので、まずは一義的にはパルコの撤退を何

とか考え直していただきたいということの後に、そういう判断が必要となってくるのかなとは考えております。

小林委員 市長の意向というのはパルコ撤退、絶対残すのだというところでの、そういうところでは市長の働きかけは全くないということか。

築地商業観光課長 パルコの撤退を再度検討していただけるようにということについては、それは私どもも一貫して、これまでも、またこれからも、そのつもりで動くということは、市長も含めて了解をさせていただいていると認識しております。

小林委員 それで、改めてパルコ側に対しての働きかけというところまではやってはいないということか。

築地商業観光課長 昨年の委員会審査の中でも、市民の皆様の声が上がってきたら、私どもとしても支援をさせていただきたいというスタンスで今までもやらせていただいておりますが、先ほどもお話ししたように、個々の声は私どもにはいただいておりますので、その声をパルコ側に届けなければいけないという考えでおります。

小林委員 上げなければいけないというところだが、それらをまだまとめて上げて

はいないということか。

築地商業観光
課長

今、準備をしているところです。

杉田委員

要望が回っている、集めているというのがあって、その内容がパルコの撤退はやむなし的な感じで、撤退したとしても商業施設として残してほしいとか、そういう活用をしてほしいという趣旨なのかなと感じているが、そうすると、今のそちらの産業経済部は撤退させないようなことをまずはしたいと、残ってくれということだが、回っている要望は、その次、仮に撤退しても、同じような商業施設を残してほしいというようなことが書かれているわけだから、住んでいる方々からすると、私は、仮にパルコという会社でなくとも、どこでもいいから商業施設をあの場所でやってほしい的な感じだと思っている。

そういう要望も今集めているということは間違いなくあるわけではないか。当然、個人個人から市にパルコを残してほしいなという声は来ているとは思いますが、そうすると、そういうのも両方ひっくるめて、やはりパルコ側と近いうちに何らかの話合いをして、現状こういう動きもあるし、こういう動きもあるというような中で、パルコは一応撤退を発表しているわけだから、一応パルコ側の考え方は、その後残り2年弱、2年切っている期間でどういうことをしていくのか、その後どうしていくのか、今考えてい

るのか、予定だから正確なことは分からないが、2年3年くらいのスケジュールというか、どのようにまずは、一番大きなパルコなので、考えているのかというところの話合いというか、それはそろそろやるべきではないかと思う。これが5月20日までと一応なっているので、6月とか、遅くとも7月とかそういう時期かなと思うが、そういう考えがあるのか伺いたい。

築地商業観光
課長

私どもも署名が回っているというのは地域の方から聞いているくらいでして、私どもに、こういう署名をするよというのは正直なところ頂いてはおりません。そういう署名活動が行われているという中で、市民の皆様は様々なお考えがあると思いますので、関係部署、市役所の中でもいくつかの部署が関係することになりますので、そういう部署とも連携しながら、産業経済部としては、まずは撤退を再考していただきたいという思いがありますが、市の部門によっては様々な立場がありますので、その中で市としてどういう形でこの後、パルコ、J. フロントリテイリングと連携していくのかということはしっかりと検討していかなければいけない課題だと認識しております。

杉田委員

産業経済部の立場は分かる。そうすると、結果的にはそろそろ、時期的にもパルコ撤退に関する担当課というか、どういう課が関係してきて、まとめる課というか、そういうのをこの時期として決めて、最終的にはこの

課がまとめて交渉していこうとか、そういうのが必要じゃないかなと思う。個々で、今は産業経済部はこういう立場で、撤退しないで継続を願うというのはもちろんよく分かるが、ほかはただ可能性としては当然撤退があるわけだから、撤退したときのことを考える部がどこかにあるだろうと思うが、そこと連携すると言っているが、そろそろそういう連携を、実際にプロジェクトチームか何かをつくってやるべきだと思うが、そういう動きはないのか。

築地商業観光
課長

現状の動きについては、関係課それぞれ情報共有などをしておりますが、しかるべき時期が来たらおっしゃったようなこともあるかもしれませんが、現時点ではどこが撤退後の窓口になるということは決まっておられないので、未来のことはなかなか言えませんが、時期が来ればということなのかなとは考えています。

川辺委員

杉田委員と関連するが、ちょっと具体的に、今までパルコに撤退しないでくださいという方向で動いていたと。いつまでそれを続けるのか、ある程度見極めをして、次なる方向性に向けてという考えに転換していかなければいけない時期、2024年2月、もう2年を切った状況になったが、いつまでにそういったパルコに何とか継続してくださいとお願いするのか。そういう時期は決めているのか。

築地商業観光
課長

現時点では時期については特に定めていません。

川辺委員

そうすると、どこかでとにかく次の商業施設なり、新しい方向にもっていくためには、ある一定の時間が必要だと思うので、そういう時期をしっかりと決めて、必要じゃないかなと思うが、そこら辺はまたしっかりと考えてもらいたい。

次に、いろいろな地域の声も聞いていると話があったが、地元のまちづくりセンターとかとの連携というのは、今までどのようなことをやってきたか示してほしい。

築地商業観光
課長

私からもセンター長に何かあれば連携させていただきたいと、地元の自治会に申しあげたようなことについては、センター長にもお話しさせていただいております。

川辺委員

そうすると、今後どんどん時間が過ぎていくという状況で、次なる準備なり、構想を練るのにも相当時間がかかると思うので、そこら辺の、今後スケジュール的なものをしっかりと決めていかないと、どんどん時が過ぎていくような形になると思うので、そこら辺の、どうやってやっていくかスケジュールをしっかりと決めていくという方向性、そこら辺の考え方を示してほしい。

築地商業観光課長 先ほど申し上げたとおり、複数の部署が関係する今回の事案ですので、連携をしながら、いつの時点で何が、というお話しでしたので、そういうことも含めてしっかり検討していきたいと考えております。

小林委員 先ほどパルコの撤退しないようにという個々の声を集めて今準備しているところということで、今、川辺委員からの質疑への答弁でも、まだいつお願いしていくのかというのは決まっていないということだが、住民の方たちの声をさらに集めていくということで、市独自で住民の声を集約していく準備の中には、どういうものが入っていて、今しようとしているのか、もうちょっと詳しくお話しをしていただきたい。

築地商業観光課長 市民の声を、例えば、署名運動をしましょうということを市から働きかけるということは考えておりません。

一方で、J. フロントリテイリングですとか、パルコ側には、市からの要望という形をお願いをしていこうと考えております。

長岡委員 パルコが撤退しないようにということで動かれているという話があったが、先ほどのお話しにもあったように、民間企業のことなので、こちら側から何か強く言うことは難しいような話もあったかと思う。そうすると、やはり表面的には出てきていないが、採算が合わないとか、そういうとこ

ろで撤退があったのかなとも想定されるので、そうすると無理に存続してくださいと言っても難しいと思う。それがAパターンだとすると撤退やむなし、その後はBパターンとして、撤退した後はどうしましょうかということ、この1年間同時並行で進めていくべきであったのではないかと思うが、なぜ、その要望、撤退しないでほしいと、そのところでとどめようと思ったのか。

築地商業観光
課長

産業経済部としては、まずはパルコの営業継続を第一の目標として考えておりましたので、そちらも市民の皆様からの声が上がってくればそこを支援していくという考え方でこれまで進めておりました。

そちらの市民の声が今現在、まだパルコに営業継続してほしいという署名活動等を頂いていないという中なので、パルコ側に市からだけで要望ということは現時点ではしてこなかったということになります。

撤退後の跡地の利活用等については、私どもとしては、その後の話だと思っておりますので、現時点では特にそういう動きはしてこなかったということになります。

長岡委員

市役所は市民の要望を重要視するというのがあると思うが、やはり市のことをたくさん分かっているのは市役所なのかなと思っている。

商業観光課だけではなく、街づくり計画部であったり、市民部であったり、関係部署もあるので、この1年間撤退した後のこと等を考えていく。

やはりはたから見てみると、関係部署が連携をするというのは日々の業務もあるので、難しい部分もあるのかなと思うので、長期的な時間が必要になるのかなと思うので、少しずつ話合いをしていった方がいい。市役所の中の考えと、市民の方の要望、お声というのを合算してまちづくりに反映させるというのもいいのではないかと思うが、今後そういった動きは考えているか。

築地商業観光
課長

いくつもの所管が関係する今回のパルコの問題ですので、庁内の連携というのはこれまでも、またこれからもしっかりとしていくものです。

大石委員

パルコが残るにしても、撤退した後に商業施設として残してほしいにしても、パルコ新所沢店というのは営業継続が難しいという民間企業の判断だから、だったら営業継続ができるにはどうしたらいいか、パルコ撤退した後に商業施設として残るにはどうしたらいいかというのは、やはり権利者の考えも聞かなければいけないと思うが、それで地元からの要望が上がってこないからやっていませんでしたと私にはそう聞こえるが、残していくのであれば、どうしたらいいのかというのは考えていくべきだと思うので、残ってほしいのであれば、また商業施設として地元へ貢献、パルコとかの商業施設に来ることによって地域に波及効果がある。映画を見に来た人が地元の飲食店に行かれるとかあるわけで、核となる施設というのは残ってほしいというのは、ダイエーのときも同様であった。ダイエーのとき

は旧町では署名活動が1か月くらいで確か1万筆くらい集まったというのがあったが、なかなか新所沢では1年くらいかかっているという状況だが、やはりただの民間ビルではないので、しかも所沢市が権利者ですよね。市民部の自転車駐車場だが、土地を持っているということが大きくて、そこは市として意見が言えるはずなので、どうやってパルコなり商業施設としてここを残してほしいというのは、やはりそれはもう一度、この1年間過ぎてしまったが、向こうの考えを早めにキャッチすべきだと思うが、改めてもう1回、地権者であることと、パルコとして残してほしいということと、もしくは商業施設として残してほしい、商業施設になってほしいということ、我々は積極的に、市として、積極的に言えると思うがいかがか。

鈴木産業経済
部長

今、お話がありましたが、当初撤退を発表されて、その後にパルコとJ・フロントリテイリングの方から文書を頂いたときに、ちょうどパルコの方がこちらにお見えになって、市長面会もありましたので、その際に、私たちは地権者としてということではなくて、あくまでも産業経済部として今後、存続してほしいということも含めて、例えば、金額的なことは無理だとしても、ここをこういうふうにし、もし市の方で助けることができれば存続できるのではないかと、例えば、地域の中でもこういうふうにしてもらえたら、何とか存続できる道もあるのではないかと、そういったものが何かありませんかということ、再三お尋ねしました。

その中で、パルコの返事というのが「今まで開店して以来、所沢の方には本当に感謝しかないという思いで、ほかの閉店をしていくところと比べて少しでも長い期間感謝の気持ちを伝えたいために、閉店までの期間を長くしました」ということはお答えをいただいたのですが、引き続き、例えば、この部分にこういったことをしてもらえるのだったら何とかかなりそうだとか、そういった少しの案でも結構なので、あればぜひ産業経済部の方に話してほしいということは、そのときにお伝えしてあります。

大石委員

その市長面会に来られた方というのは、株式会社パルコの経営者の方か、それとも店長レベルの方だったか。

築地商業観光
課長

株式会社パルコの役員の方がおいでになっています。

休 憩 (午後2時6分)

(説明員交代)

再 開 (午後2時7分)

植竹委員長

街づくり計画部から、新所沢地区における公共交通及びまちづくりについて概要説明をお願いいたします。

(概要説明に当たり委員長の許可を得て、資料を配付する)

【概要説明】

埜澤街づくり
計画部長

昨年7月に、前回の委員会審査がありまして、それ以降の街づくり計画部におけます取組や、その後の変化について、本日は御説明をさせていただきたいと思っております。

なお、ただいま配付させていただきました資料については、今年4月に更新いたしました、ところバスの路線図などをお配りさせていただいております。

それでは具体的な内容につきましては、担当課長より御説明をさせていただきます。よろしくお願ひいたします。

高野都市計画
課長

初めに、公共交通に関する新所沢駅周辺での、前回からの動きと伺いますか、変化としまして、ところバスに関しまして、変更がありましたので、お手元にお配りしました路線図で御説明をさせていただきます。

まず、表紙の全体図の中で、西路線、右の方、西の方にありますけれども、西路線新所沢狭山ヶ丘コースとありますところ、こちらを狭山ヶ丘駅東口までとしまして、その先を皆さん御存知のように、ところワゴンを追加させていただいております。

この三ヶ島地区でのところワゴンの運行開始を受けまして、先月、4月から従来のところバス西路線のうち、狭山ヶ丘駅東口から三ヶ島まちづくりセンター方面を巡回するルートというのが、ところバスにあったのですが、ところバスにあったのですが、こちらも廃止しまして、現在は航空公園駅から新所沢駅西口、

小手指駅北口を經由しまして、狭山ヶ丘駅東口まで、この間で往復することとしております。

続きまして、中を御覧いただきまして、時刻表の赤いところ、西路線を御覧いただくのと併せまして、もう一枚A4のペーパーでお配りしたものと見比べると分かりやすいかと思うのですが、こちらはそれぞれ縦の軸がバス停の数になります。従前のバス停の数が42までであったところが、今回の変更によりまして、20までの約半分にバス停の数を減らしております。

横の軸が便数になっておりまして。従前の方が1日5便だったものが、新しい方では11便に本数は増えております。11便の内訳ですけれども、これまでは全部を通しまして1日5往復だった西路線ですけれども、区間を分けまして、新所沢駅西口、9番から小手指駅北口、14番、この間につきましては1日で11往復走ることになります。小手指駅北口、14番から狭山ヶ丘駅東口、20番につきましては、1日で7往復、新所沢駅西口、9番から航空公園駅、1番、こちらは4往復走ることになっておりまして、大幅に増便をして利用しやすくしております。

それから、利用者なのですけれども、申し訳ございません、資料はお配りしていないのですけれども、昨年、令和3年4月の1か月間の旧西路線の利用者は約4,800人となっておりまして、今年4月の新路線の1か月間の利用者数は約4,000人と、約800人程減った形になっております。ただ、これはバスだけの利用者になりまして、これにところワゴン

の利用者をプラスしますと、昨年4月の合計は5,800人でしたが、今年4月の1か月間の利用者数は約6,800人となりまして、1,000人の増加となっております。これはところバスからところワゴンの方に利用が順調に移行していることなどが考えられるかなと思います。ところワゴンの利用者は大幅に増えているということです。今後は、バスの便数が増えたことによる効果というものは出てくるものと期待されます。

続きまして、新所沢パルコの撤退に関する街づくり計画部の対応につきましてですけれども、撤退の公表直後に何件か、パルコの敷地に関する都市計画法上の規制等について問合せ等がありましたが、それ以降は今現在で問合せ等の相談は来ておりません。

街づくり計画部といたしましては、現状のまま建築物を利用するのか、敷地を売却するのか、事業者や土地所有者の方々の今後の動向を注視しているところです。

【質 疑】

大石委員

令和4年度に所沢市地域公共交通計画が策定される予定になっていて、5月27日に地域公共交通会議が開催される予定だが、素案が示されてくるのかなと思っているが、新所沢・小手指間、この中ではどのように検討しているか。今回随分よくなったと評価できるところだが、それは三ヶ島にところワゴンを導入して、狭山ヶ丘から航空公園の間、小手指駅北口、新所沢駅西口を切り離して、増便できるように利便性を増してくれたと大

変評価しているが、その後、地域公共交通計画が所沢市で策定される中に
おいて、新所沢・小手指間とのバスの充実はどのように考えているか。

高野都市計画
課長

所沢市地域公共交通計画については、委員がお示しのとおり、昨年度か
ら2年間の予定で計画策定を行っているところです。昨年については、と
ころバス、ところワゴンとか利用状況の調査、あるいは利用者へのアンケ
ートなどを行ってきて、基礎調査とその分析を行ってまいりました。今年
度はその結果を踏まえまして、本市の望ましい交通網の形成に向けての計
画の策定を進めていくとしております。今、委員がおっしゃった5月の協
議会の中で、素案、叩き台等まではまだ進まないかなと思いますが、いず
れにせよ途中で成果の素案等をお示しさせていただいて、その中でまた意
見をいただいて、パブリックコメント等手続を行った上で、今年度中に計
画策定を行います。

お尋ねの新所沢駅・小手指駅間についてということですがけれども、先ほ
ど4月からの変更部分を御説明させていただきましたけれども、駅間を結
ぶ路線の増便を行いましたことで、利便性の向上は図られているところ
です。また、それ以外でも新所沢に関連する路線としては、令和5年度から
富岡地区のところワゴンの運行というものも、ルート決定に向けて検討し
ております。令和5年からの運行開始を予定しているほか、ところバスに
ついては、北野下富線が新しく開通した道路がありますので、そちらを利
用したルートを使つての便数というのも検討してまいりたいと思っており

ますので、今後も新所沢駅周辺を含めまして、市内全体の公共交通の充実とネットワークの継続を目指していけるよう、内容について検討してまいります。

大石委員

確認だが、地域公共交通計画は何年間の計画みたいな期間があったか。何年度間を目標にやっていく計画ですみたいなものがあったか。

高野都市計画
課長

一応5年間の計画にはなっております。ただ、その間で状況等の変化があれば見直していくようになるかと考えております。

大石委員

北野下富線で新しいバス路線を検討されていることというのは提案したのでよかったと思うが、長岡委員や亀山議員が一般質問されていたが、3月定例会の亀山議員の一般質問では、自動運転バスの導入を研究されて、導入された方がよろしいのではないかとおっしゃっていたが、新所沢・小手指間というのはUR都市機構が開発されたところや、西武関連のディベロッパーが開発したところが多く、歩道空間が広い、所沢市内において、幅員もある程度、渋滞するところもちろんあるが、自動運転のバスとかに適しているのではないかと思っている。その点、この間の3月定例会の亀山議員への答弁では非常に前向きな、新所沢とか小手指とかの地名は出なかったが、自動運転バスの導入に対して前向きな答弁があったが、5年先ではきついかもしれないけれども、10年先くらいの話をしていくと、

地域公共交通計画の中に入れていくべきではないかなと。特に新所沢・小手指間は導入しやすいのではないかなと思うが、今の考えはいかがか。

高野都市計画
課長

委員がおっしゃるとおりで、自動運転のバスについて、市で積極的に検討していきたいと考えているところです。他市などで実証実験、運行試験等も行われております。そういう動向、情報を把握しながらこの先の状況等を見ているところです。

一方で、地域公共交通計画の中について、具体的に路線等を定めてとか、そういった形で書くというのはまだ難しいのかなと考えておりますので、将来の中長期的なスパンでの方向性としまして、自動運転バス等の運行については取り入れることを考えていくというような、そんな書き口で記述できればと考えているところです。

大石委員

地域公共交通計画の件で1点確認だが、今三ヶ島でところワゴンが導入されて、本来だったらこの4月から柳瀬で導入されるところだったが、いろいろな諸事情で遅れていて、ルートは決まっているということだが、富岡が3番目に選ばれているが、今後、吾妻方面、松井方面をやるのか。もしくは、分からないが所沢市都市計画マスタープランでいけば、多分新所沢とか小手指は後になってしまう。記述から言えば旧町とか、富岡の後の順番はある程度決まっているか。

高野都市計画
課長

富岡までのところワゴンの運行に関しての予定ができていて、その先がどうかとの御質疑ですけれども、ほかの路線、ところバスの運行状況からの見直しという視点からところワゴンの導入ということができてきているかと思いますが、ところバスのそのほかの路線は利用者数というのが、ある程度の数はあるのかと思っていまして、直ちにその路線をところワゴンに取って代えるには乗車し切れない、人数の部分で難しいのかなとも考えています。ですので、ところワゴンをどう走らせるかというのも加えまして、ほかの吾妻、山口とか松井のところバスの路線について、検討を進めていきたいと考えております。

長岡委員

先ほど産業経済部の審査でも話したが、パルコを撤退させないように要望をしているという話はあったが、パルコが撤退した後の話をこの1年間同時並行でしていった方がよかったのではないかなと思った。街づくり計画部として、産業経済部、市民部であったり、連携してこういう問題を解決する、どういったまちづくりをしていこうかといったところが一つ思うのだが、どうやって連携しているのか。例えば、街づくり計画部がよしやろうと手を挙げて舵を切るのか、いつも連携しているというような話は聞くが、この1年間どういった話があったのか。今後どうやって連携されていくのか、誰が旗振り役になるのかというのは決まっているか。

畑中街づくり

現時点ではとりあえずパルコが撤退するという報道があって、街づくり

計画部次長

計画部と産業経済部は情報共有していきましようというところですが、事業者の方で撤退後どうするかと全く示されていないわけです。街づくり計画部からすると、建物が残ったまま中が変わるのであれば、こちらとしては特に何もすることはないわけですし、あそこを潰して建て替えるということになれば、少しこちらに関わる部分があると思います。その動きがない中で、何か動くかという、街づくり計画部としては今の時点では情報をしっかりと他部と連携して集めてというスタンスでおります。

大石委員

今、新所沢は商業施設を残してほしいという話だが、新所沢パルコの撤退に関する研究会委員を、先日、委員会に参考人としてお招きして、自治連合会公認の組織だと聞いた。情報が入っていると思うが、藤村龍至先生とか、三浦展さん、飯石さんをお招きして、所沢市でも街づくり計画の講演を聞かれていると思うが、我々もそうだけど、新所沢駅周辺まちづくり特別委員会だから、パルコだけではなくて、その周辺のまちづくり、中心市街地で行われているようなパブリック空間の利活用とか、歩道だとか公園とか利活用していこうという取組を新所沢でもお願いしますねという署名活動を、先日聞いた話だとされている。それに対してまちづくりセンターとかと一緒に街づくり計画部では、中心市街地でされているようなパブリック空間の利活用などの地元の取組は支援されていないか。

畑中街づくり

署名活動の件については具体的にどういうものか頂いていないので、そ

計画部次長

これはまだ分からないので、それに対する直接的な反応についてはまだ検討はしていないということです。今おっしゃった所沢駅周辺でしているような活動との関係は高野課長から説明します。

高野都市計画
課長

所沢駅周辺でのパブリック空間の活用の取組ですが、大石委員がおっしゃったとおりで、こちらで現在行われている再開発とか、土地区画整理事業など、大規模事業の完了後を見据えたものでして、都市計画事業が生み出した空間と既存のまちとが融合した魅力を引き出すことによる、回遊性の向上と、にぎわい創出を目指しているところです。この取組はまだ始めたばかりの段階であることから、日本各地で様々な取組が行われているかと思えますけれども、こちらの事例を参考にしまして、先ほどお名前が挙がりました有識者の方々の御意見等を聞きながら、引き続き試行錯誤を続けながら進めたいと考えております。

一方で、新所沢西口周辺につきましては、既に都市基盤が整っているところでありまして、新所沢中央公園とか、駅からつながる街路の歩道空間は広い空間がありまして、あとURも交番回りのスペースなどに代表される、ああいったスペースが多くありまして、活用できるパブリック空間には恵まれていると考えております。また、パルコ撤退のニュース以降に、地域住民の方、先ほどあった勉強会の方々とかも勉強を始められまして、そうした空間の利活用についても議論されて、有識者の方々とのつながりもあるとお聞きしております。地域から主体的に活動が立ち上がるのが、

こういった活動については持続性の面からも望ましいのかなと思われ
ますので、そうした活動に対しましては、必要に応じて庁内の関係部署と連携
しながら所沢駅周辺で得られたノウハウも共有するなど支援を行っていき
たいと考えております。

大石委員

署名による要望活動は、知らないところでありましようが、アンテナを
高くして取り組んでもらいたい。

もう一つだけ確認したいのは、先ほど新所沢パルコの規制関係について
問合せがありましたというのは、それは開発指導課とかに、どこまで建て
られますかとか、建て替えできますかとか、民間の業者の方々がそういう
相談に来たということか。

高野都市計画
課長

そのとおりです。都市計画課の窓口に来られる方は都市計画の規制現況
がどうなっているかというところで、その敷地についての現況がどうなっ
ているかという確認で来られたのが数件いらっしゃったというところ
です。

青木委員

以前はどういった確認で来たのか。例えば、パルコの建物が古くなって
しまい、パルコが撤退します。その後、その建物を使うには耐震だとかい
ろいろな修繕にものすごいお金がかかるから、あそこの店は比較的パルコ
の中でも収益はあった方ですよ。でもやはり、今後大規模修繕するに当

たって、お金がない、そういう予算が取れないということで撤退するということだと思っていたので、建て替える可能性が随分高いのかなと。先ほどのようなように、最近は何も聞かなくて、パルコが発表したときには何か聞かされたというので、その辺を聞いたかったが、最近は何も聞かなくてよろしいか。

高野都市計画
課長

最近はそのような聞かされたというのは把握している限りないです。

青木委員

そのときは、やはり建蔽率だとか、細かく、何階まで建てられるとかそういうことを聞きに来たということか。

高野都市計画
課長

そのとおりです。都市計画課の窓口では都市計画の現況をお伝えするだけになりますが、あとは開発指導課とか建築指導課でどこまでそれを建てられるかという確認はそちらの部署に行くと聞いています。

杉田委員

そうすると、今の関連で、現在の状況で建て替えるとしたら、何階まで建てられるのかを確認したい。

高野都市計画
課長

今のパルコの敷地と隣接しているところのマンションですが、あそこは都市計画がほぼ同じ内容となっておりますので、マンションであればそこ

の程度と、一概には言えないかもしれないですけども、通常で考えると、そちらのマンションが15階建てです。

杉田委員

それでいったら15階建てくらいだと分かったが、私は、もしかしたら、思い切って、こういう意見があるのかどうかも確認したいが、パルコも壊して、何かやりましょうと。でもそうだったらその周辺の地権者も含めて再開発というか、そこまで思い切ってやろうよという意見があるのかなのか。多少あるかなとは思いますが、もしあるとすれば、そういうことは可能性としてはできるか。

高野都市計画
課長

今、委員がおっしゃったように、周りも含めて広範囲での再開発ということでは、権利者同士の合意形成が図れれば、そういったことというのは出てくると思います。

ただ、現況の都市計画の制度の中でのということにはなるかと思えます。それについての何か御相談が出てくれば、市としては、その具体的内容について御相談に応じて説明していくということになるかと思えます。

長岡委員

市民の声も大事だと思うが、私はちよだプラットフォームスクエアというところでボランティアをしてきたことがあるが、そこは個人事業主の若い事業者が同じ空間で仕事をしている。休憩時間に違う会社同士で情報交換している場がある。そういう若い起業家を所沢市で育てていくというこ

とも大事なのかなと思うので、建て替えて新しくするか分からないが、新しい起業家を取り入れてまちづくりに取り込んでいくというのも手ではないか。そこに住んでいただくというのもいいと思うし、そういうことは検討いただきたいということと、先ほども質疑したが、先日南池袋公園とかも視察してきたが、有識者と市を交えた会議体みたいなものが必要だと思うのだが、そういうことを実施する場合の旗振り役は市になるのか。そういうこともやっていただきたいと思うが、検討いただけないか。

畑中街づくり
計画部次長

起業家の方々の活動の場ということになると、どちらかというところ産業経済部の担当なのかなと思います。新たな開発が起こるときにそういう場を設けられないかということをお伝えする機会としては、所沢市街づくり条例に基づいて計画の届出が出てきますから、そのときに産業経済部からそういう意見を付すというのは可能性としてはあるのかなと思いますので、産業経済部はそういう場を市内に設けるという方針があるかどうかということかなと思います。

もう一つ、専門家との意見交換とかということなのですけども、それは専門家の方々と市民と意見交換をする場を市がセッティングした方がいいという御質疑でよろしいですか。

長岡委員

市が市のことをたくさん知っているんで、市もたくさん意見を出しつつ、市民と有識者等が集まって、1回ではなく何回も集まって、どういう

まちづくりにした方がいいかということの会議を開いた方がいいと思うが、それを市で開いてもらいたいが、検討いただけないか。

畑中街づくり
計画部次長

そういう機会については、先ほど高野課長が申し上げたように、所沢駅周辺を取組の中で、この3月に所沢駅周辺グランドデザインを示しましたが、それを示すまでの過程で地域の方と専門家の方が議論を交わす機会もありましたし、そこに我々も参加していました。それからフォーラムも開催して、そこである種のお披露目という場も設けておりますので、そういった機会の必要性というのは当然認識しておりますので、その地域に対する我々の取組の中で、そういった機会は適宜行っていきたいと思っております。

小林委員

ところバスについては変更後、新所沢駅西口と小手指駅北口の便数が大変増えたというのは多くの方がよかったというのがあると思う。というのは、もちろん皆さんの声がそうであったと思うが、小手指駅だと所沢駅で乗り換えてそれから西武新宿線に来なくてはならず、非常に遠いという感じがあったので、それでよかったと思う。その中で、いわゆる現役世代の人も乗っているのかどうなのかという質問を受けたりするがどうなっているか。

高野都市計画

年代別とかでの調査を行っていないので、利用者の方がどういう層にな

課長

っているかというのは把握しておりません。

小林委員

小手指ハイツの方も高齢化していて、また、新所沢駅西口の方たちも、特にURの方たち、公団にお住いの方たちも高齢化している。三ヶ島でところワゴンが運行し、柳瀬、富岡でも予定がある。新所沢駅西口から行政道路まで行くのにも、高齢者は歩いて15分くらいかかってしまう。ところバスの運行時間に合うかどうかとかということもあるし、その間の時間帯を縫うような形で、ところワゴンもいいという意見もあり、その辺のところも充実してもらいたいという住民の方たちの要望もあるがいかがか。

畑中街づくり

いろいろな御意見があるのはごもっともだと思います。皆様にとっては

計画部次長

御自分が利用しやすいようにということだと思います。ただ、本市としては全体を考えて、交通計画をこれからつくるわけですから、その中でどういうルートを通すのか。それから便数、密度をどうするかというのは全体の中で考えていきたいと考えています。

小林委員

全体の中でとなるとなかなか最後の方に回される感じがしたりもするが、先ほど出たパルコ撤退後の土地の活用についてだが、住民の方たち、生活者の利便を考えていただいて、その土地の利用についてはタワーマンションの建設などではなく、地権者本位だとやはり一番儲かるとなるとタワーマンションを造ろうかとなってくるかと思うが、改めて住民の方たち

本位のまちづくりということで、このパルコの撤退というのが一つの大型商業施設であり、その利便性はすごくある。市では子育て世代の女性の就労機会の確保に努めるとか、産業経済部から先ほど900人くらい働いているという報告もあった。先ほどマンションについて15階までということだが、銀座通りでもタワーマンションが林立して、結果的には歩いて買い物するような状況ではなくて、ビル風がひどくて、やはり超高層マンション、タワーマンションではなくて、多くの住民の方たちが感じてらっしゃるところだなと改めて思っている。そういう意味では、居住空間でそういう商業施設がちゃんとあつての利便性というところでのまちづくりということでは、しっかりと考えていってもらいたいと改めて思っている。まだ何とも言えないというところだと思うが、その辺の考えを聞きたい。

高野都市計画
課長

今おっしゃったとおりで、土地利用に関して今後どのようなようになっていくかというのがまだこちらでも見えてきていないところです。また、所有者の意向等についても見えてきていないところがあります。市の方針としては、パルコの存続、残留の要望をしていくというのが市の姿勢として一つあるかと思えます。その後の施設の利用について望ましいのが、今の建物を利用した、引き続き商業施設であるということかと思えます。一方で、建て替えによるマンション等の問題というのは出てくるかと思えますけれども、その動きがどうなっていくかというのを今後とも注視して見ていきたいと考えております。

【質疑終結】

休 憩 （午後 2 時 4 5 分）

（休憩中に協議会を開催）

再 開 （午後 2 時 5 5 分）

植竹委員長

次に、6月定例会における中間報告の件についてです。4月28日と5月12日に開催した参考人招致及び執行部への質疑に係る委員会審査については、6月定例会で中間報告を行うことでよろしいでしょうか。

（委員了承）

それでは、6月定例会において、議長に中間報告を行う旨の申し入れを行います。

次に、「視察について」を議題といたします。

視察については、7月から8月のうち、2日ないし3日で実施することとし、視察先及び視察日程については委員長に一任とすることよろしいでしょうか

（委員了承）

それでは、決まり次第、皆様にお知らせします。

散 会 （午後 2 時 5 6 分）

